



県立図書館はこんなこともしてくれる！

本校の図書館は創立当初から地域の方々にも貸し出し業務を行ってききました。司書も代替わりしながら業務が途絶えることなく、高校としての書籍の充実度はなかなかのものになっています。しかしながら、昨年度は学校司書が完全に空席となった年で、その穴埋めを司書教諭や図書部職員が担うにしても、サービス低下は免れない事態となっていました。

そんなことで頭を抱えていた折、親身に相談に乗ってくれたのが県立図書館でした。しかも 図書ボランティアを養成するような図書館講座を開催してみたら」と提案してくれたのです。

早速、本校を会場に、連続3回（月1回）の出前講座となりました。テーマは1回目 学校図書館の大切さ・図書の整理 講義とワークショップ」・2回目 本の楽しさ 電子書籍、絵本、紙芝居等」 講義と実演」・3回目 図書の展示の仕方 講義とワークショップ」。こうした努力にも関わらず、保護者や地域の中から図書ボランティアを買って出る方は皆無でした。それでも、県立図書館の職員の方々が講師となり、もったいないほど内容の充実した講座を行っていただくことで力強いエールを感じたものです。そうした県立図書館の支援や保護者からのご理解もあって、今年度は独自に司書を置くことができました。また、今年も昨年同様の講座を開催し、図書館のレイアウトを刷新できたところです。県立図書館の全面的ご支援に対し、改めて心から感謝申し上げます。

なお、これも県立図書館からのお薦めで、**「フアレンス協同データベース事業」**に本校も加入することにしました。全国の公立図書館、大学・短大の図書館とネット上でつながることで、知識・情報の大海原へと航海可能となったことをうれしく思います。

学校図書館の活性化支援とその取り組み

県立図書館では高等学校、特別支援学校図書館への支援として、セット貸出や学校訪問による助言等、様々な事業を行っています。今回は、毎年夏に開催される学校図書館職員等研修会と、県立秋田西高等学校で実施した図書館講座についてご紹介します。

■学校図書館職員等研修会

県立図書館では、県内の高等学校・特別支援学校支援の一環として、8月9日(金)に「学校図書館職員等研修会」を開催しました。この研修会は学校図書館担当教職員や図書委員の生徒を対象とし、毎年1回開催しています。



↑「ポスターは引き算が大切。空間も設計、インパクトのあるものを。」とお話をいただきました。(多目的ホール)

今回の研修では「ポスター・チラシの作り方講座」と題し、グラフィックデザイナーを講師にお招きし、効果的なポスターやチラシの作り方についての講義を行いました。

講義の中では、各学校が作成するのポスターや図書館だよりについて、丁寧なアドバイスをいただきました。

講義終了後は教職員と生徒に分かれ、情報交換を行いました。「図書委員は普段どのような活動を行っているか」



↑「県内の高等学校図書館の写真を見ながら、活動内容について活発な情報交換がなされました。(多目的ホール)」

「本離れしている生徒を図書館に足を向かせるために、どのような工夫をしているか」「どのように本の展示をしているか」など、普段は知ることのできな

い他の学校の活動状況について、活発な情報交換がなされました。

県立図書館は、今後も様々な活動を通して県内高等学校・特別支援学校図書館を支援してまいります。

■秋田西高校 P T A 研修「図書館講座」

秋田西高校では、図書館の一層の活性化を図るために、昨年度からPTAと図書委員会の生徒を対象とした図書館講座を行っており、今年も全3回の日程で当館に講師の依頼がありました。

● 第1回「図書館の基礎」

図書館の役割や司書の仕事について講義をしました。司書志望の生徒もあり、選書やレファレンスしました。サービスなど多岐にわたる司書の仕事について熱心に聞いていました。

● 第2回「本の楽しさ」

保育園等で読み聞かせ活動に取り組んでいるJRC委員会の生徒たちも加わり、絵本の選び方や読み方のポイント等について、実際に絵本を手にしながらか体験しました。

● 第3回「学校図書館ビフォー・アフター」

書架や机のレイアウトを見直すことで図書館を改



↑「ビフォー・アフター」の様子。古い本を片付け、面出しスペースを作成中。(秋田西高校)

善する「ビフォー・アフター」を行いました。コーナーの配置や資料の展示を変えることで、印象が大きく変わりました。

図書委員会の生徒の皆さん、PTAの方々、担当の先生方の熱意ある取り組みで、秋田西高図書館はこれからますます楽しく役立つ図書館となることと思います。

「第2回震災復興チャリティーコンサート」を開催しました

東日本大震災からの復興を支援する「震災復興チャリティーコンサート」を、県児童会館との共催で5月25日(土)に開催しました。

当日は、秋田市在住のピアニスト近藤美穂子さんが「子犬のワルツ」などの曲を演奏し、大仙市在住の茂木美竹さんと双子の風歌さん優希さんの親子ユニット「美風優」が「Stand Alone」などの曲をコーラスで披露しました。



↑ 出演者と観客全員で「世界が一つになるまで」を歌いました。(県児童会館)

また、国際教養大学で学ぶ沖縄県出身者を中心とした学生グループ「AIU沖縄県人会エイサー隊」が伝統芸能の「エイサー」を実演しました。

会場となったけやきシアターには、200人を超える方々が訪れ、演奏や実演を楽しみ、「花は咲く」などの曲と一緒に歌いました。

「図書館を元気に!」秋田県図書館大会が開催されました

6月14日(金)、平成25年度(第37回)秋田県図書館大会が県生涯学習センターで開催されました。県内の市町村図書館や公民館図書室、学校図書館の関係者約100人が集まり、「図書館を元気に! ～秋田の図書館活性化の道を探る～」をテーマに、講演や事例発表が行われました。

始めに、福島県南相馬市立中央図書館副館長の早川光彦氏より、「図書館のフルモデルチェンジ ー期待される図書館になるためにー」と題した基調講演が行われ、南相馬市立図書館における様々なサービスや、地域住民に期待される図書館となるための取り組みについてお話いただきました。

続いて、4名の方から事例発表が行われ、みたね鯉川地区交流センターからは橋本五郎文庫の開設までの経緯や今後の展望について、秋田市立土崎図書館からは図書館と地域住民との協働について、由利本荘市中央図書館と秋田県立図書館からは、1年間の人事交流で得られた成果と今後の業務への活用について報告があり、地域の情報拠点としての図書館のあり方と活性化の方策について考える貴重な機会となりました。



↑ 南相馬市立中央図書館副館長早川氏による基調講演(県生涯学習センター)

図書館の仕事を体験 ー職場体験・インターンシップに多数の参加ー

当館には、全県各地から中学生や高校生が訪れ、職場体験やインターンシップなどを行っています。8月末までに、中学校19校、高等学校7校から延べ131人の生徒を受け入れました。

この体験では、当館のたどってきた歴史や役割などの説明を受け、カウンターでの貸出・返却や書庫内での書架整理、市町村や県立学校への発送・返本、カバーやラベル貼りなどの業務を、職員の指導のもとに行います。

体験を終えて帰る際、生徒たちは「利用者と接する



↑ “先輩”から熱心に仕事内容のレクチャーを受ける生徒たち(カウンター)

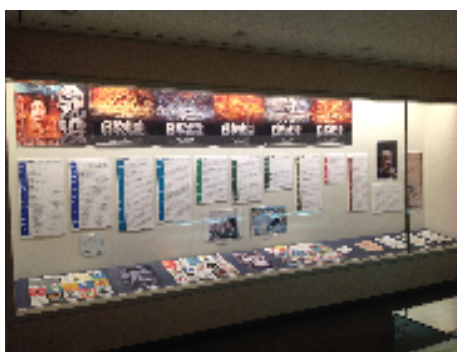
カウンターの仕事が難しかった」「思ったより重労働で大変だった」「面白かった」「この図書館で働きたいという気持ちが強くなった」などと感想を話しています。

News ～県立図書館からの最新情報～

小松左京直筆原稿を電子書籍で閲覧することができます!

昨年10月に提供を開始した電子書籍サービスは、今年度も提供する資料を増やしていきます。

第一弾として、5月にSF作家の第一人者である小松左京氏の未公開直筆原稿を公開しました。これに関連して、5月27日(月)～6月27日(木)に開催した館蔵資料展「書籍の世界～デジタルとアナログの競演～」でも直筆原稿や関連資料の展示を行いました。6月9日(日)には、長年小松左京氏の秘書を務めた乙



↑館蔵資料展「書籍の世界～デジタルとアナログの競演～」(特別展示室)

部順子氏による講演会も行われ大変好評でした。

今後も電子書籍の充実に努めてまいりますのでご期待ください。

資料保存と修理のポイント (1) 「どうして本って壊れるの？」

まず始めに、図書の劣化・破損の原因を考えてみましょう。酸性紙や無線綴じなど、資料そのものが原因となることも多いですが、実は様々な外的要因が関係しています。例えば、温度・湿度、ちり・ほこり、紫外線などの環境要因のほかに、窮屈な書架への配架、無理なコピー、長期間の展示、水濡れや食べこぼし、セロハンテープによる修理など、「人」による不適切な取り扱いが原因

になっていることも多いのです。

資料保存の基本は、「劣化の要因をどれだけ防げるか」にかかっています。そのためには職員の



↑酸性紙による資料の劣化

専門知識の習得や利用者の心遣いが大切なのです。これらの基本を守れば、本は確実に長持ちします。

Event ～イベント・催し物のお知らせ～

■平成25年度「秋田県読書フェスタ」

期間 平成25年10月12日(土)～19日(土)

会場 県立図書館ほか

内容 貴重資料ギャラリートーク

プロムナードコンサート

ぬいぐるみのおとまり会 (児童会館)

■第2回ふるさとビジネスセミナー

「記者生活40年ー秋田から世界へー」

日時 平成25年11月1日(金) 15:00～16:30

会場 秋田市にぎわい交流館AU(あう)

3階 多目的ホール

講師 佐藤俊行氏 (NHK放送総局特別主幹)

定員 150名 (参加無料)

これからの休館日

・11月1日(金)

・12月1日(日)～7日(土) (特別整理期間)

※ 図書・雑誌の返却はブックポストをご利用ください。

秋田県立図書館だより Vol.78(2013.10)

発行年月 平成25年10月

編集発行 秋田県立図書館企画・広報班

住所 〒010-0952 秋田市山王新町14-31

TEL(018)866-8400

秋田県立図書館だより
は今号より、紙面の体
裁を一部変更して、よ
りわかりやすい紙面と
しました。◆年三回
行し、図書館の取り組
みや催し物の紹介を行
います。ホームページ
やブログなど、ウェブ
を使用した広報活動の
充実の一方で、紙媒体
による広報も引き続き
充実させていきます。
◆次号は十二月発行で
す。新館移転二十周年
を特集します。

編集後記